

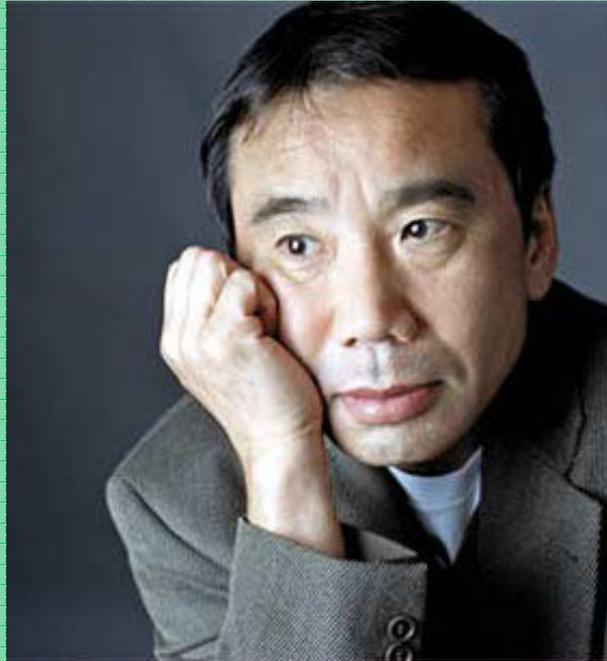
# 第95回愛知学院大学モーニングセミナー

## 村上春樹ワールドを読み解く

愛知淑徳大学教授・文芸評論家  
清水良典

2014年2月11日

## 村上春樹(1949ー)

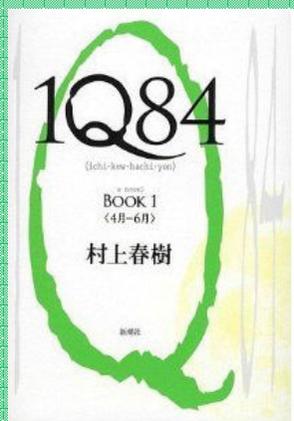


京都市伏見区生まれ。兵庫  
県西宮市、芦屋市で育つ。  
父母ともに国語教師。

早稲田大学第一文学部映画  
演劇科卒。

ジャズ喫茶「ピーターキャット」  
の経営を経て、1979年「風の  
歌を聴け」で群像新人文学  
賞を受賞しデビュー。

# 主な作品



- 1979『風の歌を聴け』
- 1980『1973年のピンボール』
- 1982『羊をめぐる冒険』
- 1985『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』
- 1987『ノルウェイの森』
- 1988『ダンス・ダンス・ダンス』
- 1992『国境の南、太陽の西』
- 1995『ねじまき鳥クロニクル』三部作
- 1997『アンダーグラウンド』
- 1999『スプートニクの恋人』
- 2002『海辺のカフカ』
- 2004『アフターダーク』
- 2006 フランツ・カフカ賞受賞
- 2009-10『1Q84』Book1-3
- 2009 エルサレム賞受賞
- 2011 カタルーニャ賞受賞
- 2013『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』

# 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』



村上春樹

色彩を持たない  
多崎つくると、  
彼の巡礼の年

Colorless Tsukuru and  
the Years of Pilgrimage

新潮社

# 名古屋市郊外の高校出身の5人の親友たち

•多崎つくる

東京に進学

20歳で絶交される

現在36歳

•赤松 慶(アカ)

名古屋大学経済学部

自己啓発セミナー会社

•青海悦夫(アオ)

名古屋の私立大学商学部

レクサス販売店営業

•白根柚木(シロ)

名古屋の音楽大学ピアノ科

30歳で死亡

•黒埜恵理(クロ)

名古屋の私立女子大学英文科

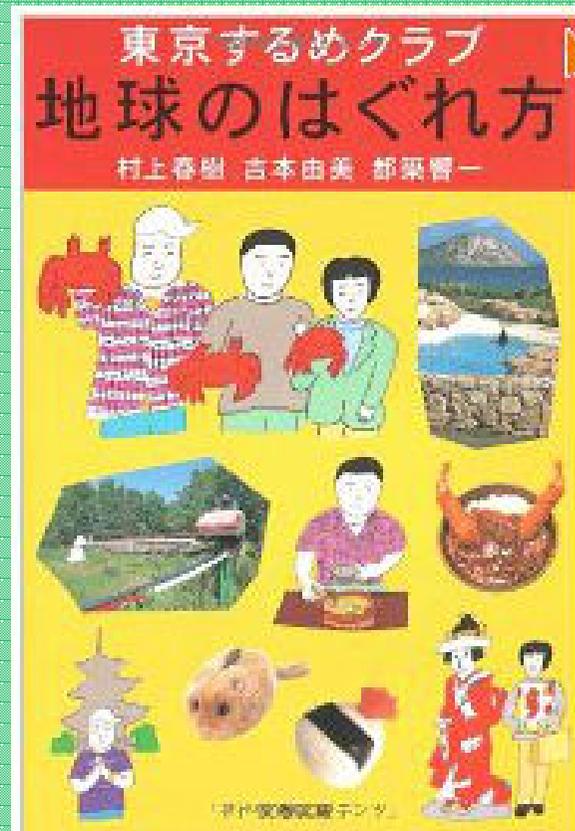
知県立芸大陶芸科

フィンランド在住

# 多崎のガールフレンド 木元沙羅

「なんだかコナン・ドイルの『失われた世界』みたい。ねえ、名古屋ってそんなに居心地の良いところなの？」

東京するめクラブ(村上春樹・吉本由美・都築響一)  
『地球のはぐれ方』(文藝春秋、2004年)



## 村上春樹「失われた世界としての名古屋」

僕は思うんだけど、名古屋という場所の特殊性は、そこが押しも押されもせぬ大都市でありながら、どこかしら**異界**に直結しているような呪術性をまだ失っていないところにあるんじゃないだろうか。で、その「異界」とは何かっていうと、結局のところ僕ら（つまり名古屋市民のみならず普遍的な日本人である僕ら）自身の内部にある古典的異界＝暗闇なんですね。（中略）これはもう「**魔都**」って呼んでもおかしくないんじゃないかと感じるわけです。

# 16年の隔たり

1995年 阪神淡路大震災

地下鉄サリン事件



2011年 東日本大震災

福島第一原発メルトダウン

村上春樹  
『アンダーグラウンド』  
あとがき「目じるしのない  
悪夢」



- この地下鉄サリン事件が投げかける後味の悪い黒い影は、東京のアンダーグラウンドの闇をとおして、私が自分で作り出した「やみくろ」という生き物(それはもちろん私の意識の目が見出すものだ)とつながっているように感じられる。

# 「地下二階」の文学

- 2階 個人
- 1階 家族・共同体
- 地下1階 隠れた欲望
- 地下2階 トンネルであらゆる人間とつな  
がっている

# ノーベル文学賞

年	肖像	受賞者	出身	ジャンル
2010年		マリオ・バルガス・リョサ	 ペルー	小説
2011年		トーマス・ランストロンメル	 スウェーデン	詩
2012年		莫言	 中国	小説
2013年		アリス・マンロー	 カナダ	小説